

環境経営レポート

(令和5年度)「2023.9～2024.8」(28期)



2024年10月1日

株式会社 大起電工



代表取締役 角山 健次

ごあいさつ

㈱大起電工は、人々の生活に欠かす事の出来ない電気・情報技術などの分野で、お客様のニーズにお応えして事業活動を展開しておりますが、今後はこれに環境保全活動を加えて更に、社会に貢献して行きたいと考えております。

株式会社 大起電工

代表取締役 角山 健次

環境経営方針

(環境経営理念)

事業活動のあらゆる分野において、自然や資源を守り環境との調和を図るとともに、社会の進歩にも対応する知識・能力を兼ね備え、恵み豊かな生活と環境の次世代への継承を推進します。

(基 本 方 針)

1. 環境マネジメントシステムを構築し、一人一人の環境意識の向上及び環境教育を推進するとともに、目的・目標を定め定期的に見直し、継続的改善を図ります。
2. 人との繋がりを大切にコミュニケーションを図り、人材の育成・社会貢献等、活動の拡大を推進します。
3. 環境関連法規その他の要求事項を遵守します。
4. 資源の有効利用を図るため、廃棄物の削減及びリサイクルを推進します。
5. 地球温暖化を抑えるため、省エネルギーを推進します。
6. 水資源不足に貢献するため、水使用量の削減を推進します。
7. 本社及び工事現場における環境に配慮した活動を推進します。
8. 環境に優しい製品の購入を推進します。
9. 環境経営方針は公表します。



制定:2006年 4月30日

改定:2019年 4月 1日

株式会社 大起電工

代表取締役 角山 健次

1 事業活動の内容

事業者名および代表者名		株式会社 大起電工 代表取締役 角山 健次			
事業所の所在地および連絡先 (認 証 ・ 登 録 範 囲 が 全 社 で あ る)		大阪府箕面市小野原東4-9-20 TEL 072-727-2331 E-mail daikidenko@daikidenko.com FAX 072-727-2328			
環境管理責任者および担当者		環境管理責任者：宮本 政代 担 当 者：北川 太郎			
事業 内 容 (認 証 ・ 登 録 範 囲 が 全 社 ・ 全 活 動 で あ る)		電気設備、電気通信・移動無線通信設備、空調設備、仮設電気工事、土木工事の設計施工			
事業の規模	活 動 規 模	2020年度・25期	2021年度・26期	2022年度・27期	2023年度・28期
	売 上 高 (千円)	300,000	293,000	295,000	295,000
	従 業 員 (人)	16	13	12	11
	本社事務所(2F) 延床面積 (㎡)	98.11	98.11	98.11	98.11
	資機材置場床面積(1F) (㎡)	55.84	55.84	55.84	55.84
	倉庫総床面積(隣接) (㎡)	55.28	55.28	55.28	55.28
	産業廃棄物保管場所床面積 (㎡)	8.9	8.9	8.9	8.9
事業 年 度		9月から翌年8月			
環境経営組織図及び役割・責任・権限	代 表 者 角山健次 ⇒ 環境管理責任者 宮本政代 ⇒ 環境管理担当者 北川太郎 ⇒ 全従業員				
	代表取締役 角山健次	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人・設備・費用・時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認			
	環境管理責任者 宮本政代	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境経営目標、環境経営計画書の作成・確認 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の承認・作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境経営レポートの作成・確認、公開(事務所備付と事務局への送付) ・従業員に対する環境方針の周知・教育訓練の実施			
	環境管理担当者 北川太郎	・従業員に対する環境方針の周知・教育訓練の実施の補佐 ・廃棄物の処分の指示等の実施(リユース・リサイクル・廃棄処理等) ・緊急事態対応訓練の実施 ・問題点の発見、是正、予防処置の実施			
	全 従 業 員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加			

2 環境経営目標と実績

使用量・排出量等算出

目標・実績・評価

項 目		単 位	2008年度 基準値	2023年度				2024年度 目標値	2025年度 目標値
				目 標	運用データ	評価	総合		
購 入 電 力	売上高当たり	kWh/百万円	41.366(2018)	41.118	29.885	○	○	41.035	40.953
	使 用 量	kWh	13,852	13,236	8,816	○		13,188	13,152
ガ ソ リ ン	ガソリン当たり	km/L	13.784	11.812	11.077	×		11.364	11.364
	使 用 量	L	16,325	15,600	3,578	○		15,552	15,504
軽 油	売上高当たり	L/百万円	16.971(2018)	16.870	8.146	○	○	16.836	16.802
	使 用 量	L	7,224	6,900	2,403	○		6,888	6,864
ガソリン・軽油 総合使用量		L	23,549	22,500	5,981	○		22,440	22,368
廃棄物排出量	売上高当たり	kg/百万円	39.759(2018)	39.520	18.877	○	○	39.441	39.362
	廃 棄 量	kg	13,980	13,368	5,569	○		13,320	13,284
水 使 用 量	売上高当たり	m3/百万円	0.2176(2018)	0.2163	0.1458	○	○	0.2159	0.2155
	使 用 量	m3	61.0	60.0	43	○		60.0	60.0
リサイクル率	リサイクル量/全排出	%	43.4	50.9	58.5	○	○	51.4	51.9
環 境 配 慮 の 事 業 活 動	環境配慮指針	点	3.5(2010)	4.7	4.7	○	○	4.7	4.7
	工事現場に於ける 環境への取組	点	3.3(2012)	4.5	4.8	○		4.6	4.7

二酸化炭素排出量等算出

総排出量実績

二酸化炭素総排出量実績	単 位	2008年度(基準値)	2021年度	2022年度	2023年度
	kg・CO2	61,917	41,482	20,508	18,123

目標・実績・評価

排出係数 (株)エネクスライフサービス 0.411 kg-CO2/kWh 令和3年度調整後

項 目		単 位	2008年度 基準値	2023年度			2024年度 目標値	2025年度 目標値
				目 標	運用データ	評 価		
購 入 電 力	排 出 量	kgCO2	5,070	4,842	3,623	○	4,827	4,812
	売上高当たり	kgCO2/百万円	17.553	16.764	12.281	○	16.711	16.658
ガ ソ リ ン	排 出 量	kgCO2	37,889	36,194	8,300	○	36,080	35,967
	売上高当たり	kgCO2/百万円	138.31	132.09	28.13	○	131.68	131.26
軽 油	排 出 量	kgCO2	18,958	18,105	6,200	○	18,048	17,992
	売上高当たり	kgCO2/百万円	97.72	93.33	21.02	○	93.03	92.74

注意事項

- ・主に下請工事の為、電力・水の使用量は元請又は客先支給であるため管理不可。
- ・自動車・重機・発電機のガソリンと軽油の使用量は本社の自動車燃料使用分を加えて一括管理。
- ・廃棄物排出量・処分量については元請管理を除き、当社管理の物は本社に持ち帰って一括管理・処分。
- ・下請工事主導の為、材料選定、環境配慮設計・施工の提案・実施が困難。定性目標を策定して取組む。
- ・「km/L」の目標値は是正処理にて3年毎の平均値+(平均値×0.05%)を3年間固定で目標設定。2年毎で再度検討。
- ・「環境配慮の事業活動」の目標値は「4.7点」を最大目標値としてそれ以降は固定させ持続化を図る。
- ・「目標・実績・評価」の基準値の()内の数字は基準値年度を表示。

3 環境経営活動計画の内容

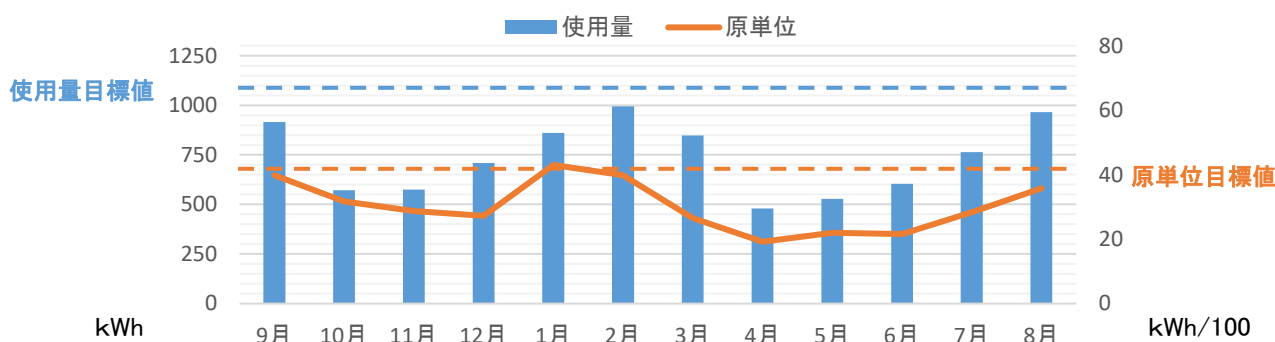
取組項目	活動計画の対策・実施		
① 購入電力使用量の削減及び二酸化炭素排出量削減	・空調使用期間の管理と設定温度の管理(冷房(26～28℃)暖房(22～20℃)) ・不要な照明はこまめに消灯し節電に努める。(スイッチ・OA機器等に節電表示) ・省エネタイプコピー・電源リモートオフシュレッターにて電源消し忘れを防ぐ		
	コピー機の節電表示	電源リモートOFFシュレッター	エアコンの温度設定・節電表示
			
② 化石燃料使用量の削減及び二酸化炭素排出量削減	・「エコドライブ10のすすめ」の励行(特に燃費の拡充に取組む) ・オイル交換・タイヤ交換等、車両整備の徹底 ・月毎に各人が運転・法規の遵守・整備等を点検(点検表)することで常に見直しを図る。		
③ 廃棄物排出量の削減及び二酸化炭素排出量削減	・マニフェストの管理 ・分別排出で、リサイクルを推進する(適正処理の徹底) ・裏紙使用で紙くずの排出量を抑える ・FAXを自動用紙排出負荷に設定(無駄なFAXを印刷しない)		
	廃プラスチック類	ダンボール・紙類	電線くず類(業者専用コンテナ)
			
④ リサイクルの推進	・分別排出の徹底にてリサイクル率の向上 ・コピー用紙の裏紙利用で「裏紙」の再利用の徹底(コピー用紙購入の削減) ・エコキャップ・プルタブの回収、使用済みテプラテープの回収		
	コピー用紙の裏紙再利用	エコキャップ・プルタブの回収	テプラテープの回収
			
⑤ 水使用量の削減	・節水コマの取付及びバルブ調節 ・「節水表示」にて節水の徹底 ・必要時以外は蛇口をこまめに締める ・流しながら作業はしない。		節水表示
			 
⑥ 環境教育・環境意識の向上等環境に配慮した事業活動の推進	・環境教育の実施にて環境意識の向上を図る ・月1回の全員による「環境配慮指針実施状況チェック表」の自己チェック ・2ヶ月に1回、工事従事者の「工事現場に於ける環境への取組」の自己チェック ・HPへの環境レポート掲載・名刺へのロゴ印刷等にて、エコアクション21参加・活動をアピール		
⑦ 社会貢献活動への参加	・池田土木事務所主催の「豊能防災ボランティア」に参加(防災訓練等に参加) ・社会貢献活動参加の一環として、「エコキャップ回収」・「プルタブ回収」に参加		

4 環境経営活動の結果・評価

①購入電力使用量及び二酸化炭素排出量削減



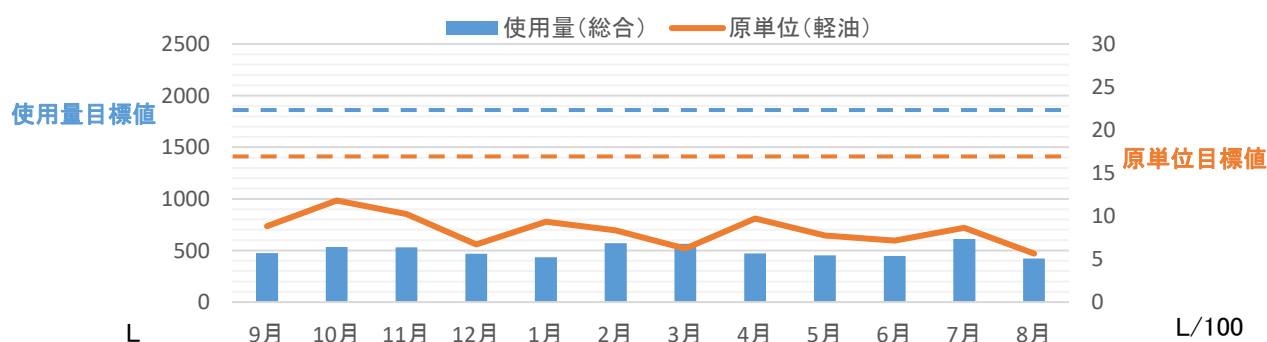
目 標	結 果	判定	評価
13,236 kWh	8,816 kWh	○	年間使用量・CO2の排出量共に昨年より微減。電力会社の「節電プログラム」利用等、節電に努めているが、必要使用数もあり、今後減少は厳しい。節電には更に努める。
41.118 kWh/百万円	29.885 kWh/百万円	○	
16.764 kgCO2/百万円	12.281 kgCO2/百万円	○	目標
			昨年と比較して微減であるが、最低限の電気使用量を抑えることに努め、こまめなON・OFF徹底の励行で、来期も現状維持以上の結果の為、節電に努めていく。



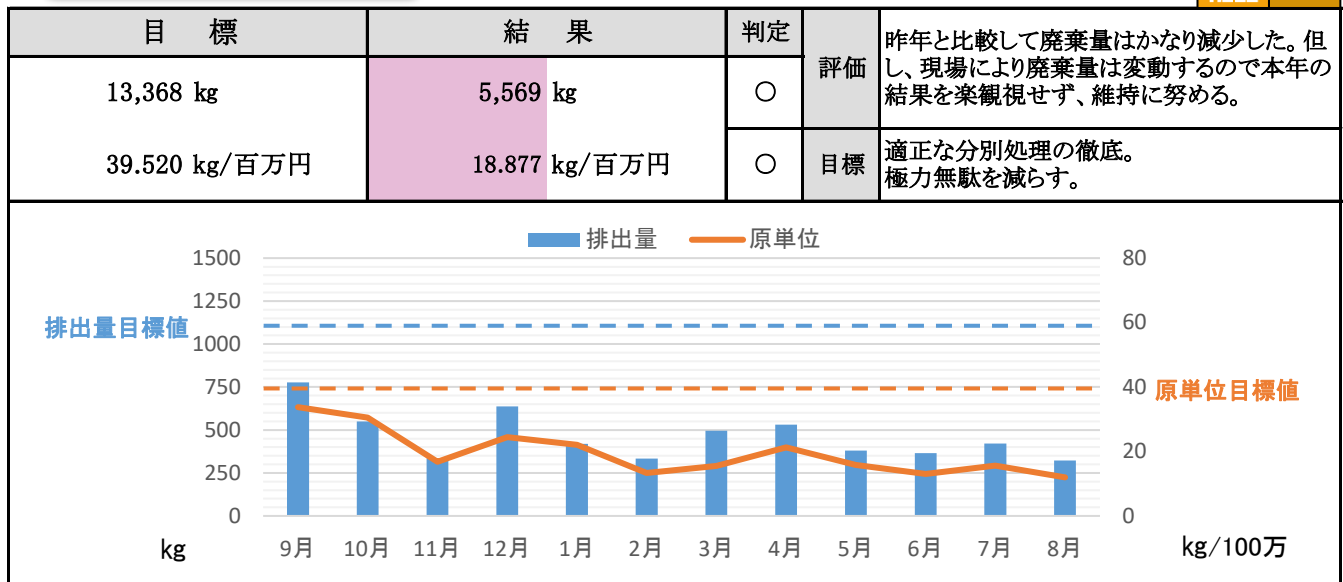
②化石燃料使用量及び二酸化炭素排出量削減



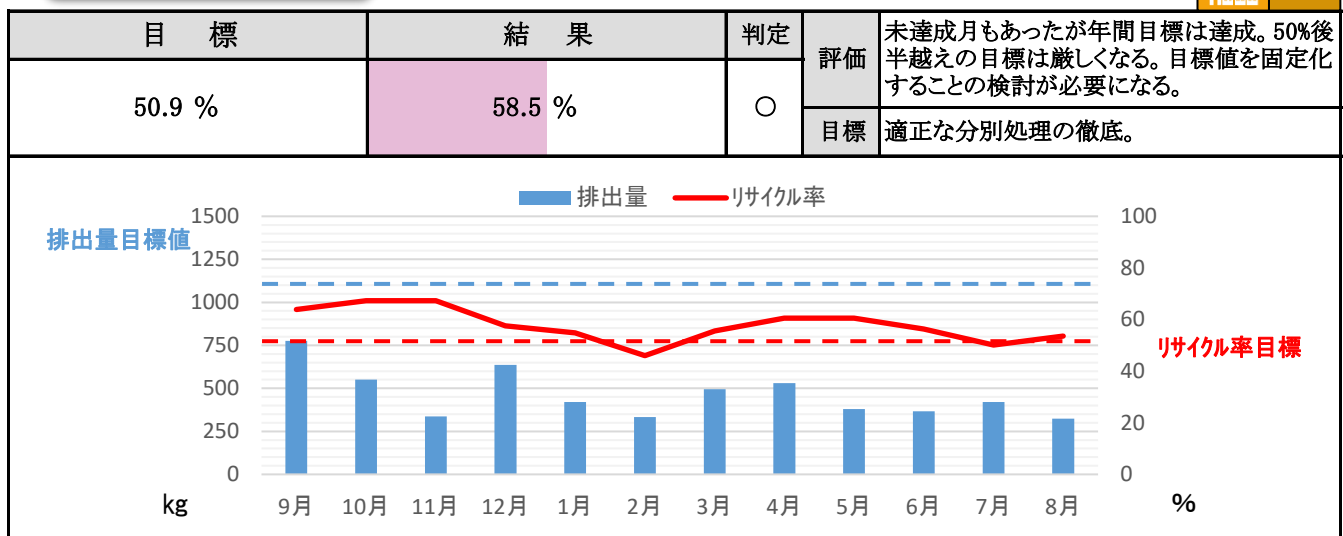
目 標	結 果	判定	評価
ガソリン			- 長期現場が複数あったので、現場の分散化が少なく、乗合移動なることが多くなったため使用車両が減少した。それによって使用燃料が大幅に減少した。 - 逆に燃費に関しては、乗合移動の為に走行車両重量の影響が目標未達成となる事が多かった。 - 原単位の目標は使用量大幅減もあり達成。
15,600 L	3,578 L	○	
11.812 km/L	11.077 km/L	×	
132.09 kg-CO2/百万円	28.13 kg-CO2/百万円	○	- ガソリン・軽油共に使用量は現場を選ぶことはできず、現場によって左右されるのは必至で、増減の変動が生じては致し方ないが極力少量消費へと努める。 - 燃費に関しても、現場によって左右されるのは必至。そのうえでも更に「エコドライブ」に努める。
軽油			
6,900 L	2,403 L	○	
16.870 L/百万円	8.146 L/百万円	○	目標
93.33 kg-CO2/百万円	21.02 kg-CO2/百万円	○	
総使用量			
22,500 L	5,981 L	○	
10.941 km/L	10.532 km/L	×	



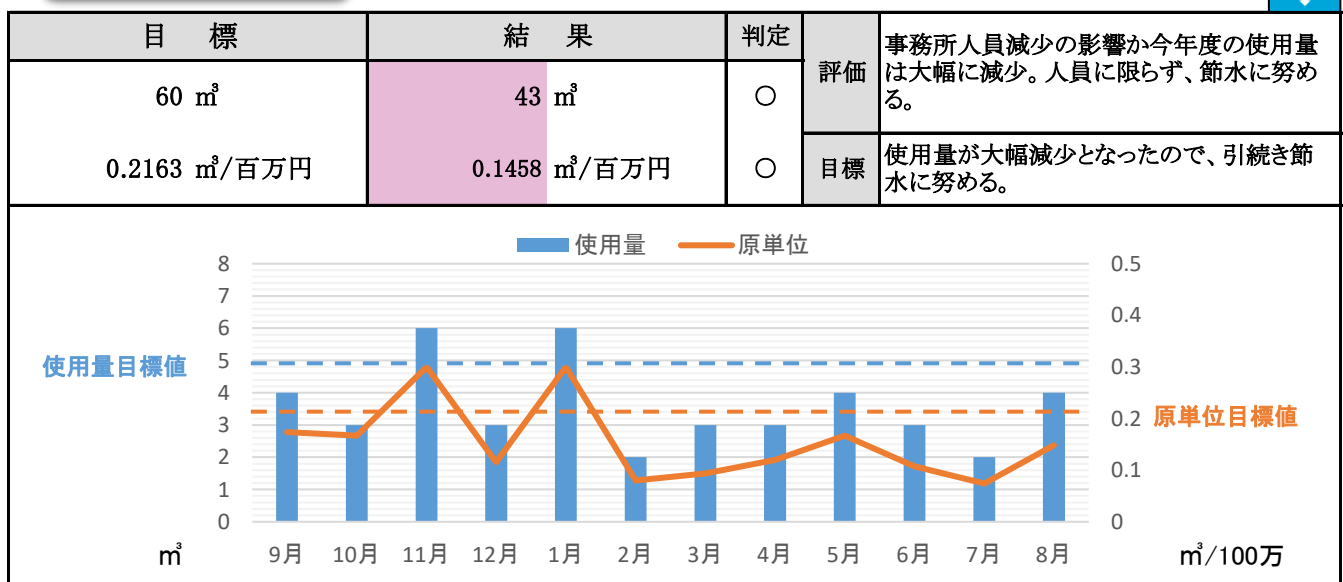
③ 廃棄物排出量の削減



④ リサイクルの推進



⑤ 水使用量の削減



⑥ 環境に配慮した事業活動の推進

環境意識の向上

目 標	結 果	判定		
環境配慮指針実施状況チェック 4.7 点	月1回実施 4.7 点	○	評価	全体は月に1回、現場は2ヶ月に1回での環境への意識づけをすることで、日常の節電・節水等を図ることができた。 厳しい面もあるが「エコライフ」の推進にも努力していく。
工事現場に於ける環境への取組 4.5 点	2ヶ月に1度実施 4.9 点	○		

環境教育の実施

予定回数	結 果	実 施 状 況
EA21推進会議(4回/年)	4 回	2023.10.16/2023.12.28/2024.3.31/2024/6/28
環境教育(2回/年)	2 回	2023.12.28・2024.6.28
現場環境教育・新人教育(都度)	1 回	2024.2.16

緊急事態対応訓練

推奨回数	結 果	実 施 状 況
消防・地震訓練(1回/年)	消防訓練1回	2023年12月28日 実施 参加人数 9名

⑦ 社会貢献活動への参加

実 績			
①池田土木事務所の防災ボランティア研修・訓練に参加			
②地域の防災訓練に参加			
③警報発令時・地震発生時等、随時緊急点検の実施			
④エコキャップ・プルタブの回収(回収後は指定業者・行政等、その時に応じて持込)			
期 間 (令和5年9月～令和6年8月)	名 称	内 容	実施日等
	防 災 ボランティア 研 修	豊能防災ボランティアマニュアル説明	2024.6.7
	防 災 ボランティア 訓 練	地震災害対策訓練	2024.1.16
	地 域 防 災 委 員 会	地域防災訓練	2024.1.17
		風水害訓練	2024.6.25
	防災ボランティア緊急点検実施	大雨(土砂災害)警報 発令	2024. 5.29 異常なし

5 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

① 当社適用法規制等と遵守状況

1) 当社適用の法規制遵守状況

主要法規制	該当する活動	遵守状況
騒音規制法・振動規制法	該当する特定建設工事は届出及びその基準を守る。	遵守
廃棄物処理法	産業廃棄物の排出。保管基準(掲示板の設置)。マニフェスト発行及び交付状況等報告。	遵守
消防法	4800AHセル以上の蓄電池設置は届出が必要。	遵守
自動車 NOX・PM 法	適合車の使用	遵守
小型家電リサイクル法	携帯電話・デジタルカメラ等小型家電の回収・リサイクル。各担当市町村にて回収。	遵守
フロン排出抑制法	機器の簡易(定期)点検の実施・漏えいの算定・報告。	遵守

・上記以外の該当環境関連法規制も遵守しています。

2) 違反、訴訟等

環境関連法規制等の過去3年間、違反、訴訟はありません。又、関係機関等からの指導、指摘ありません。

6 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

実施日 2024.9.30

全体評価・結果	方針、目標、環境活動計画の達成状況		
	1. 電気・化石燃料・水道とも使用量目標達成。 特に化石燃料・水道は現場の状況(化石燃料)、事務所人員の減少(水道)の影響か大幅に減少となった。		
	2. 車の燃費においては、乗合移動(重量)の影響か未達成月が多くなった。		
	3. 廃棄量においては、昨年より大幅に減少。但し、増減は現場状況によるので楽観視はできない。		
	4. 原単位は、全てにおいて目標を達成。(化石燃料・水道等の使用量の大幅減効果もあった。)		
	5. 社員全員での環境配慮の意識チェックの定着、向上を図った。		
	6. 「防災ボランティア」・「エコキャップ回収」・「プルタブ回収」等社会貢献活動に積極的に参加。		
	環境経営システムの実施状況		
	1. 省エネコピー機・電源リモートOFFシュレッダー機にて消し忘れ防止。		
	2. FAXの自動受信プリントを廃止と同時にコピー用紙裏紙使用の持続化。		
	3. 購入電力会社の「節電プログラム」に参加して節電を図った。		
	4. 取引各社のペーパーレス化・電子化への推奨対応。(請求書の電子化・注文書・請書の電子化に対応)		
	5. 若年層の採用・育成、全社員へのスキルアップへの取り組み。(国家資格の増加を図った)		
次年度への取り組み・見直し(次年度に際し方針・目標・体制に変更なし)		指 示	
1. 全社員が「活動計画」に基づいて、使用量・排出量の削減でコスト削減を図る。		有	無 話し合い
2. 廃棄物の排出とリサイクル率においては、分別処理・適正処理の徹底。		有	無 話し合い
3. チェック表の利用で各人の「環境配慮の意識の向上」の拡充。		有	無 話し合い
4. エコアクションロゴマークを活用して、エコアクション参加会社であることをアピール。		有	無 話し合い
5. 「社会貢献」の一環として「防災ボランティア」・「エコキャップ・プルタブ回収」運動に積極的に参加。		有	無 話し合い
6. 企業拡大の為の個々のレベルアップ資格取得への取り組みとそのための指導の展開。		有	無 話し合い
7. 年間無事故対応にて無駄な手直し・修理等を発生させない。		有	無 話し合い